



# 精神医療センターの医療を壊す移転は中止せよ!

## 4病院再編の撤回を

天下みゆき県議の一般質問 6/21

県立精神医療センターが富谷市に移転して、東北労災病院と合築するという構想に対して、県は、県立がんセンターと仙台赤十字病院が統合した名取市の新病院に、精神科外来を設置する方針を打ち出しました。しかし、そのことが混乱を加速させています。

外来と入院が25キロ離れた診療は現実的でない

天下県議

5月31日の精神保健福祉審議会では、「名取の病院は外来だけで、入院は25キロ離れた富谷では現実的でない。入院に納得していない人を簡単に運べない」という指摘があった。外来受診した患者が病状悪化で入院する場合、富谷の病院にどうやって行くのか。また、デイケアや訪問看護は民間医療機関でどのくらい受け入れが可能なのか。

保健福祉部長は、「基本的にはご家族などにより送迎をしていただく必要がある」と審議会での指摘を軽視し、「デイケア・訪問看護については、民間における受入体制について精査する」と実態把握が未だであることがわかりました。

天下県議

移動手段の問題や、医師体制と主治医制の問題など、次々と課題が出てくる。患者さんは不安がまして病状が悪化し、夜間の救急などで疲弊している医師は、名取と富谷の往復で更に疲弊して大混乱するのではないかと。

村井知事は、「まず大きな枠組みが決まったら、更に課題についてよく考えた」と、医療の存続を問う指摘を後回しにしました。

精神保健福祉審議会のまとめを真正面から受け止めよ

天下県議

審議会では富谷移転に対する批判が相次ぎ、議論を総括して「県の考え（富谷市への移転）を認めることはできない」とまとめました。これに対して知事は、「具体的な姿が十分に提示できなかったからだ」と説明しました。

天下県議

審議会の議論のすりかえだ。審議会では、医療・福祉の専門家や家族会、当事者から移転反対の声が相次いだ。審議会のまとめを受け止めて、名取での建て替えも含めて検討すべきだ。

村井知事

まだ富谷に完全に決まったわけではない。これから詳細を詰めて、課題を解決すればご理解も深まるのではないかと思う。

知事に患者さんの医療を奪う権利はない

天下県議

富谷に決まっていらないのなら、名取で建てる選択肢もあるのか。

村井知事

富谷市明石台での移転合築を、住民に粘り強く説明したい。

天下県議

病院は命のとりでだ。「全体の利益のため」と知事は言っているが、現在、病院にかかっている患者さんたちの医療を奪う権利は知事にはない。



## 事業の妥当性が問われる 広域防災拠点事業

広域防災拠点事業は、宮城野原のJR貨物ターミナル駅を岩切に移転させ、その跡地（17ha）に整備する事業です。当初の計画より完了時期が12年間も遅れ、総事業費も295億円から324億円に膨らみ、今年度更に増加する予定です。創造的復興事業として牽引してきた村井知事の責任は重大です。

が行われる。再評価にあたっては、JR貨物の公共補償費、現在の112億円の内訳と、増額後の内訳を明らかにすべきだ。

土木部長

詳しい内訳は、JR貨物の工事発注に当たり、入札に影響する。

天下県議

これは県民の税金だ。自身が精査されてこそ妥当性が検証できる。

村井知事

最大限、努力していきたい。

天下県議

事業の妥当性が問われる広域防災拠点事業は中止すべきであり、これ以上、県民の税金を投入することは認められない。

広域防災拠点の公共事業再評価は、今年の11月から行われ、パブリックコメントも実施します。

今年度「公共事業再評価」

## 障害者医療費助成制度の窓口無料化を求める

宮城県の障害者医療費助成制度は、医療費を窓口で支払って、後日償還されるしくみです。

全国の状況（2022年4月1日現在）は、「現物給付（窓口無料）」が24都道府県、「現物給付と償還払い併用」が15県、残り8県のうち2県は「自動償還払い」で、宮城県は「償還払い」の残り6県の1つです。

障害者医療費助成制度の窓口無料化を求める。無料化に伴う国庫負担金減額措置については、県が2分の1負担して市町村を支え、国に減額措置の廃止を求めよ。保健福祉部長は、「現物給付化には市町村との更なる検討が必要。国庫負担金減額措置については、国に強く要望する」と答えました。

土木部長

天下県議

毎年、障害者団体から強い要望が出されている。障

日本共産党  
県議団ニュース  
速報版  
2023年6月 第60号  
発行：日本共産党宮城県議会議員団  
(控室) TEL 022(211)3523  
FAX 022(268)6093  
E-mail: info@jcpmk.jp